

# 滝山 5 丁目地域の アンケートのご報告

もしもの時に  
どうしよう？

東久留米市社会福祉協議会

滝山五丁目自治会



令和 5 年2月 18 日(土)「滝山5丁目アンケート報告+防災ミニ講座」を開催し、31 人の参加がありました。当日は小学校のイベントと重なるなど、都合がつかずに参加ができなかった人も多くいるため、アンケートの報告と今後の取り組みを中心にお知らせします。

これを手に取った人が、防災のこと、日ごろからの顔の見える関係づくりのことをご近所で話題にして、次の一步のきっかけとしていただければ幸いです。

## 1. アンケート報告

東久留米市社会福祉協議会(以下、「社協」)は「福祉活動の主役は住民」という理念のもと、公的機関や福祉団体と手を結び、地域の暮らしを応援しています。



### 【なぜアンケートをしたのか】

◆社協:身近なところに、地域の福祉のために活動している人たちと場所(拠点)があって住民同士が互いに声をかけあい、困りごとを解決できるようにする。

→第九小学校避難所の地域の住民と、地域ニーズを共有するための調査を行い、将来的には同じ場所に避難する住民同士が知り合い、日ごろから活動する場づくりを応援したい。

◆滝山五丁目自治会:防災検討委員会など、これから取り組みを検討している。

そこで、社協から世帯状況や近隣との関係、防災に関する意識や準備状況などの現況把握するアンケートを協力して実施しました。

## 【実施概要】「滝山5丁目地域の減災・防災対策に関するアンケート」

- ・対象 滝山5丁目にお住まいの方 531世帯
- ・配布 各戸ポスティング  
(滝山5丁目自治会班長の皆様、社協職員)
- ・期間 令和4年11月1日(火)~12月2日(金)
- ・回答 213件、回答率40.1% (郵送 192件、WEB 21件)
- ・集計結果は、社協ホームページで公開  
令和5年4月~令和6年3月まで、社協窓口で配布します。  
社協ホームページ <https://www.higashikurume-shakyo.or.jp/>

滝山5丁目自治会会員 33%  
未加入・その他 67%



## 【アンケートでわかったこと】

### ◆ご近所づきあい

- ・自治会「加入している」53%、「加入していない」46%
- ・ご近所づきあい→「あいさつ程度の最小限のつきあい」49%

様々な事情で自治会参加はしてないが、地域のこ  
とや防災に関心のある人が沢山いる地域です！

### ◆防災のこと 情報が多い=ご近所づきあいが多(仮説)

- ・防災訓練→「行われていることは知っているが参加したことはない」41%
- ・備え→「懐中電灯・ろうそく」約81%、「飲料水」76%、「非常用食料」60%、  
「簡易トイレ」35%
- ・在宅避難→「知らなかった」42%  
「70歳代」「80歳代」は「知っていた」が逆転1位。

居住歴が長く、自治会加入者などご近所づきあ  
いが多い人=防災のこと、地域の情報が多い

### ◆避難のこと 避難所は七小？ トイレの準備は？

- ・避難所に行くなら→「七小」50%、指定避難所「九小」30%
- ・避難所生活で不安なこと→「トイレ等の衛生問題」31%  
「水・食料等の物資の不安」23%

「九小は遠くて歩けない」と  
いう切実な声が多数！

家のトイレも下水道復旧まで使えない可能性があるので、  
「簡易トイレ」など(家族7日間分)もぜひご準備を。

### ◆災害時の助け合い

#### お互いさまの地域・まずは顔見知りの関係から

- ・避難所に行くための手伝い→「本人・同居の家族の支援を希望する」合計66%
- ・助け合い→「自分や家族の安全を確保し、その上で助けられるようなら助け合う」36%

ご近所づきあいが多く人は、「自分や家族の安全を確保した後、一人ではできないので、近隣の人  
と一緒に助け合う」との回答多く、日頃からの関わりが、万が一の時の命の助けにつながります。

## 【アンケートの活用とこれからのこと】

社協では、防災を切り口に住民同士が知り合い、日ごろから活動する場づくり(例 防災講座、  
避難所運営連絡会、見守り活動のサロンなど)を応援します。

今後は、滝山3・4丁目にアンケート実施を相談予定です。

## 滝山五丁目自治会からのご報告

滝山五丁目自治会 令和5年度 会長 森本育男

### 【ご挨拶】

このたび社会福祉法人東久留米市社会福祉協議会と協働し、「滝山5丁目地域の減災・防災対策に関するアンケート」及び「滝山5丁目アンケート報告会+防災ミニ講座」を実施いたしました。アンケートにご回答いただいた住民の皆様、並びに報告会+防災ミニ講座へご来席いただいた皆様に本紙上をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。

以下に自治会として行っている防災意識向上に向けての活動、今後の取り組みをご報告いたします。

### 【直近5年間の自治会としての防災活動に対する取り組み】

※2020年(令和2年)は新型コロナウイルス感染拡大により実施無し

#### ◆2018年(平成30年)、2019年(令和元年)

- ・東久留米消防署から講師をお招きし自治会員向けの「防災サロン」を実施  
※講師による座学と、消火器やAED(自動体外式除細動器)の使い方などの実地講習



※2019年(令和元年)  
防災サロンの様子(消火器・AED実地講習)

#### ◆2021年(令和3年)

- ・自治会員に対して防災に関するアンケートを実施し、防災活動への提言を実施

#### ◆2022年(令和4年)

- ・前年度のアンケート及び提言を踏まえ、「防災座談会」を実施  
講師 東久留米市環境安全部防災防犯課



- ・社協と協働し「滝山 5 丁目地域の減災・防災対策に関するアンケート」を実施
- ・東京都「町会・自治会による防災対策普及啓発事業助成金」を利用し、5 丁目住民全体に対し防災対策啓発チラシを、自治会員にはチラシに加えて防災グッズ(ラジオライトと乾電池)を配布

#### ◆2023 年(令和 5 年)

- ・前年のアンケートに対する回答結果を踏まえて「滝山 5 丁目アンケート報告会+防災ミニ講座」を実施

### 【自治会としての今後の取り組み】

#### ◎在宅避難を想定した情報提供

- ・家庭での地震対策、防火対策など防災情報の提供
- ・自治会における防災に対する取り組みの情報提供

#### ◎自治会員へ備蓄のきっかけとなるような防災用品の配布

#### ◎要援護者を意識した防災訓練

- ・安否確認や消火器使用訓練などの防災訓練

#### ◎自治会員同士が顔見知りの関係を作れるよう、イベントや訓練の開催

#### ◎自主防災組織の立ち上げ

### ➡最終目標 「地域で災害に備える」地域防災力の向上

### 【おわりに】

私たち滝山五丁目自治会は 2022 年(令和 4 年)に創立 50 周年を迎え、未来に向けて新たな一歩を踏み出しました。防災委員会(自主防災組織)の設立準備も進めており、自治会員へ対しては勿論のこと、滝山 5 丁目全体への防災意識の向上を図っていきます。そのためには自治会員だけでなく、5 丁目に居住する住民皆様のご協力が必須です。

これを機に自治会へのご入会をご検討いただける方(過去に退会した方の再入会も歓迎します)は以下へご連絡いただけますと幸いです。

「滝山五丁目自治会入会(再入会)問い合わせフォーム」

<https://forms.gle/qjfW6hagK31NG8RQ9>



=====  
【このお知らせに関する問い合わせ先】 発行 令和 5 年 3 月 31 日

〒203-0033 東久留米市滝山 4-3-14 わくわく健康プラザ 2 階

社会福祉法人 東久留米市社会福祉協議会 電話 042-471-0294(代表)

この事業は、歳末たすけあい募金地域福祉活動費を活用しています。